

平成 26 年 8 月 26 日(土)先端加速器科学技術推進シンポジウム in 東北

日時＝平成 26 年 8 月 23 日（土） 13:30～16:30（開場 12:30）

会場＝奥州市文化会館（Zホール）大ホール

主催：いわて ILC 加速器科学推進会議／岩手県国際リニアコライダー推進協議会／東北 ILC 推進協議会／（一社）国際経済政策調査会／先端加速器科学技術推進協議会

後援：高エネルギー加速器研究機構・岩手県・奥州市・金ヶ崎町・岩手日報社・胆江日日新聞社・岩手日日新聞社・河北新報社・NHK 盛岡放送局・IBC 岩手放送・テレビ岩手・岩手めんこいテレビ・岩手朝日テレビ・水沢テレビ・奥州エフエム放送

## プログラム

『国際リニアコライダー(ILC)が目指すもの』

高エネルギー加速器研究機構 機構長 鈴木厚人

『人口減少時代と ILC への期待』

日本創成会議 座長 増田寛也

『国際リニアコライダー(ILC)実現への道』

先端加速器科学技術推進協議会大型プロジェクト部会長 山下 了

## <報告>

平成 26 年 8 月 26 日(土)に先端加速器科学技術推進シンポジウム in 東北「ILC の日本実現に向けて」を開催した。

本シンポジウムは、ILC が目指す最先端の研究とその最新状況に加え、国際プロジェクト 実現による地方都市の創造について理解を深めることを目的に実施したもの。高エネルギー加速器研究機構(KEK)鈴木厚人機構長、日本創成会議増田寛也座長、先端加速器科学技術推進協議会大型プロジェクト部会山下了部会長の 3 氏が講演した。昨年の ILC 立地評価会議による国内建設候補地決定から 1 年の節目にあたることもあり、市民など約 700 人が参加。ILC の建設実現に期待を寄せた。

鈴木氏は、「国際リニアコライダー(ILC)が目指すもの」と題した講演で素粒子研究の現状を「ヒッグス粒子の発見により、ILC 建設への期待が高まっている」と解説。ILC 建設により日本に世界中から多くの研究者が集まり研究が行われることは「世界平和への大きな貢献になる」と述べた。

増田氏は「人口減少時代と ILC への期待」の中で、人口減少の主要因を若年女性の減少と地方から東京圏への若者流出と指摘。適切な少子化対策と東京一極集中対策に

よって、安定的な人口規模を実現できるとしたうえで、ILC の建設は人口減少問題打開に有効との考えを示した。

山下氏は「国際リニアコライダー(ILC)実現への道」と題して講演。ILC の実現には、オールジャパンでの盛り上がりの必要性と強調し、「地域みんなで『社会参加型プロジェクト』として ILC を社会に定着させていくことが非常に重要」と述べた。